

case 05

イームズロボティクス株式会社

プロジェクト名	海・山での遭難者探索、災害時の被災者探索を行う機能を搭載したドローンの開発	
企業の所在地	本社：福島県南相馬市小高区飯崎字南原65番地の1 R & Dセンター：埼玉県ふじみ野市うれし野 1 丁目3-29	
企業の事業概要	産業用ドローンを中心とした自律機器の製造販売、ソリューションによる提案と開発	
実現しようとしているサービス	想定顧客	・ 自治体、災害対策に関わる省庁、特殊法人、独立行政法人など
	想定顧客が抱える課題	・ 日本には将来的に「起こるであろう」と予想されている災害が数多く存在する。 ・ 災害は突然やってくるため、防災訓練をはじめとした準備が必要とされている。 ・ 現状、省庁・自治体をはじめとする災害対策に関わる機関において、ドローンを活用した災害対策情報が共有されているとは言えない。
	サービスが提供する価値	・ 「災害時の対応具体化」「遭難者・被災者の早期発見・支援」。能登での貴重な実体験を生かし、災害対策に活用できるドローンの提供。 ・ 新開発のドローン導入により、有事のアクションがより具体化され、様々な想定の下に訓練を行い、空からの被災者支援ができる。
開発・実証プロジェクトで取り組んだ内容、県内企業との連携	- 探索機能・アナウンス機能の開発 - ドローン本体に新規で取り付ける「探索用サーモカメラ」「アナウンス用スピーカー」で、模擬被災者の探索、音声の聞き取り状況を検証 - 物資投下機構の開発 - 模擬衛星電話の投下テストにより、破損の有無をチェック、目標とする位置への投下を実施・検証 - サイバーセキュリティ対策に関するパーツの検証 - 開発するドローンに「サーキュラー115(a)」サイバーセキュリティ対策に関する検証を実施 - 機体本体の組み込み - ドローン機体「E6150」の組み込み開発 - サーモグラフィカメラ映像伝送機構開発、スピーカー・アンプ・音声伝送機構開発等において、県内企業と連携	



本事業で開発した「海・山での遭難者探索、災害時の被災者探索を行う機能を搭載したドローン“RESCUE K”」



大学キャンパスでの投下機構テスト（2025/2/17）の様子

<問い合わせ先>

イームズロボティクス株式会社 ソリューション営業部（担当：渡辺）
WEB：<https://www.eams-robo.co.jp/>